

渡辺酒造店(京)再び最高賞

ワイン、日本酒の世界的品評会



世界的なワインや日本酒の品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」で、渡辺酒造店(飛騨市古川町)の「小町桜 別囲い」が、生産数十万本以下、千円以下の酒で最も優れた製品に贈られる「グレート・バリュー・チャンピオン」を受賞した。

(瀬田貴嗣)

値段抑えた甘口「小町桜 別囲い」

同社の製品は四年前にも同じ賞を受賞しており、品評会史上で初めて、同一社で二度目の受賞となった。品評会には純米大吟醸酒、古酒、本醸造酒など九部門があり、小町桜は普通酒部門でも最高賞の「トロフィー」を受賞。同社の吟醸酒「蓬菜(ほうさい) 吟醸 伝統辛口」も、吟醸酒部門でトロフィーを受賞した。

同社によると、小町桜は六代目蔵元の渡辺一郎さんが戦前、地元の林業者や農家に、晩酌で一日の疲れを癒やしてもらおうと、製造を開始。庶民でも買やすいよう値段を抑え、甘口で少量でも満足感が得られる味わいに仕上げた。渡辺久憲社長は「飛騨の食文化が世界に認められてうれしい」と話した。

小町桜は七百二十ミリリットル入りで税抜き八百八十円。同社のネット通販サイトなどで購入できる。

受賞の喜びを語る渡辺社長＝飛騨市古川町で